

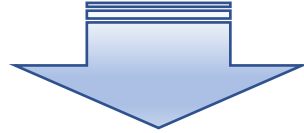
全体配置図



※本内容は、変更になる場合があります。

■ 背景・目的

- 令和元年度に売却の方針から防災・減災のまちづくりを目的とした土地の利活用へと方針を転換
- 昨今の大規模災害や新型コロナウイルス感染症の拡大などを教訓として防災都市づくりのより一層の推進
- 感染症対策と災害時医療の両面から、市内医療体制の充実強化



「防災・減災のまちづくりの実現」
「地域住民の利便性の向上」
「市民のスポーツ機会の確保」

「井口特設グラウンド土地利用構想」より

■ 現況・課題

【現況】

- 地域の一時避難場所として指定
- 長年にわたり暫定的なグラウンドとして利用（土埃の飛散、ボール等の施設外への飛び出しなど、周辺に配慮すべき課題あり）
- 東西方向をつなぐ歩行者・自転車の生活動線が不足 など



（現在の井口特設グラウンド）

【課題】

- 西側地域からの避難経路の確保
- 立地を活かした地域の防災拠点としての機能維持・拡充
- 潤いのある緑豊かな環境の創出
- 今後は医療機関との連携強化の必要性 など

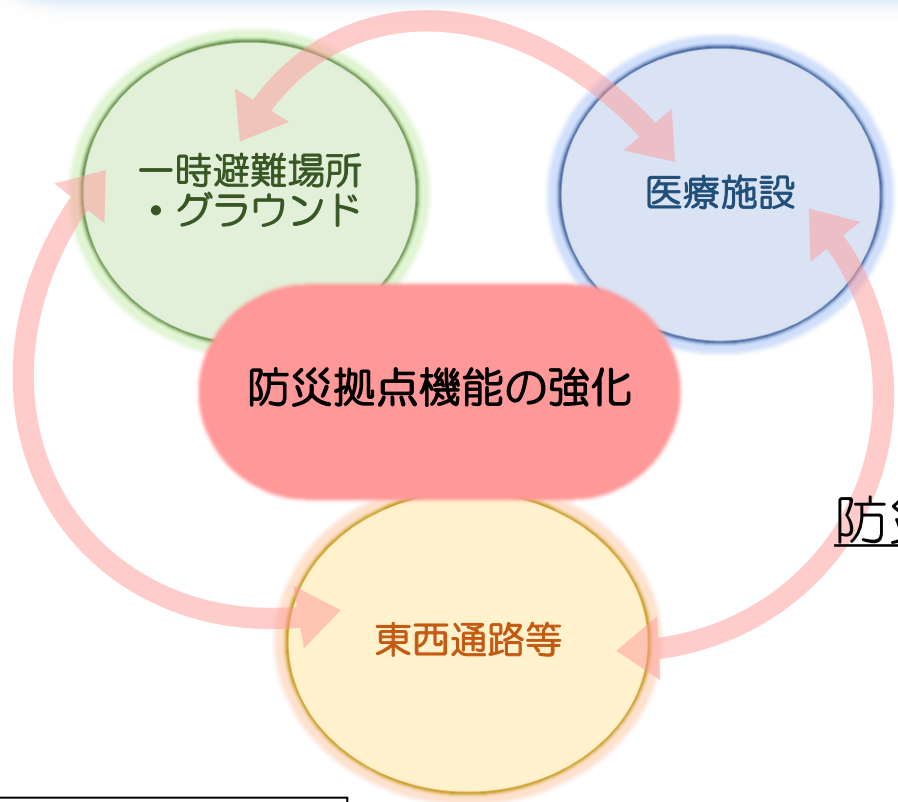
「井口特設グラウンド土地利用構想」より

目標・方向性

◆目標

土地利用の相乗効果による西部地区の防災拠点機能の強化

～地域の防災力と利便性の向上、医療体制の充実～



◆避難所（井口CC）をはじめ、各施設が機能的に連携した一体的な防災拠点を目指します。

◆方向性

○地域の防災拠点を形成する

⇒一時避難場所の確保、グラウンドの整備

平常時：グラウンド 災害時：一時避難場所

防災・スポーツ

○市内の医療体制の充実を図る

⇒医療機関の誘致、地域住民の健康づくり

平常時：地域医療 災害時：災害時医療 ※感染症対策

医療・健康

○地域の交通利便性の向上を図る

⇒東西通路の確保

地域交通拠点の整備（バス乗り継ぎポイント）

平常時：歩行者・自転車用通路 災害時：避難経路

暮らし・利便

井ログラウンド（仮称）平面図

※本内容は、変更になる場合があります。

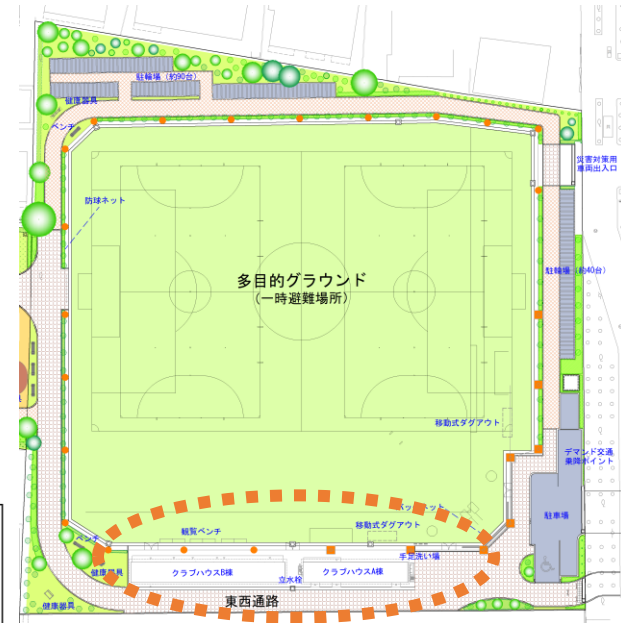
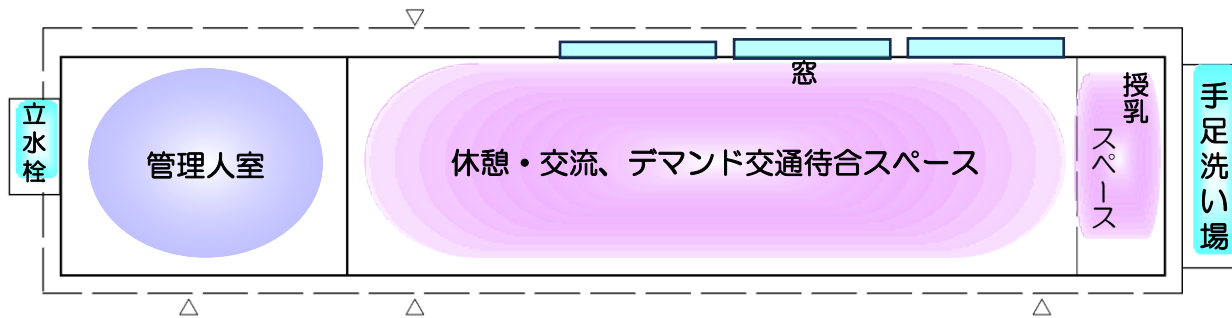


クラブハウス

◆配置

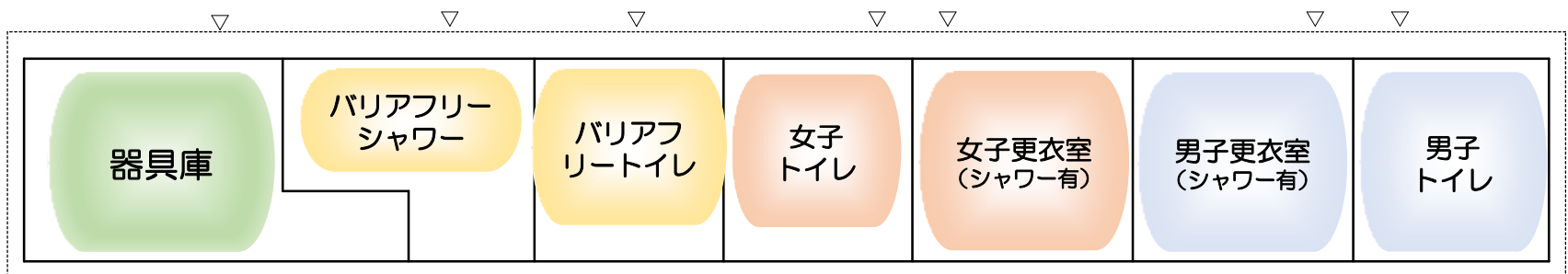
A棟

利用者対応を行う管理人室、休憩・交流スペース兼デマンド交通の待合スペースを設置するほか、授乳スペースを設ける。



B棟

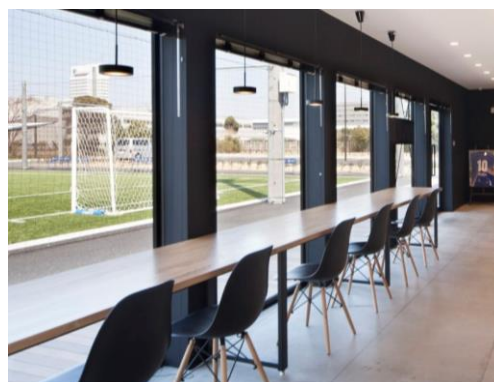
器具倉庫、トイレ、シャワールーム兼更衣室を設置し、バリアフリー対応の誰でも使用可能な設備を設ける。



◆イメージ



開放感のある窓を設置予定



内観イメージ

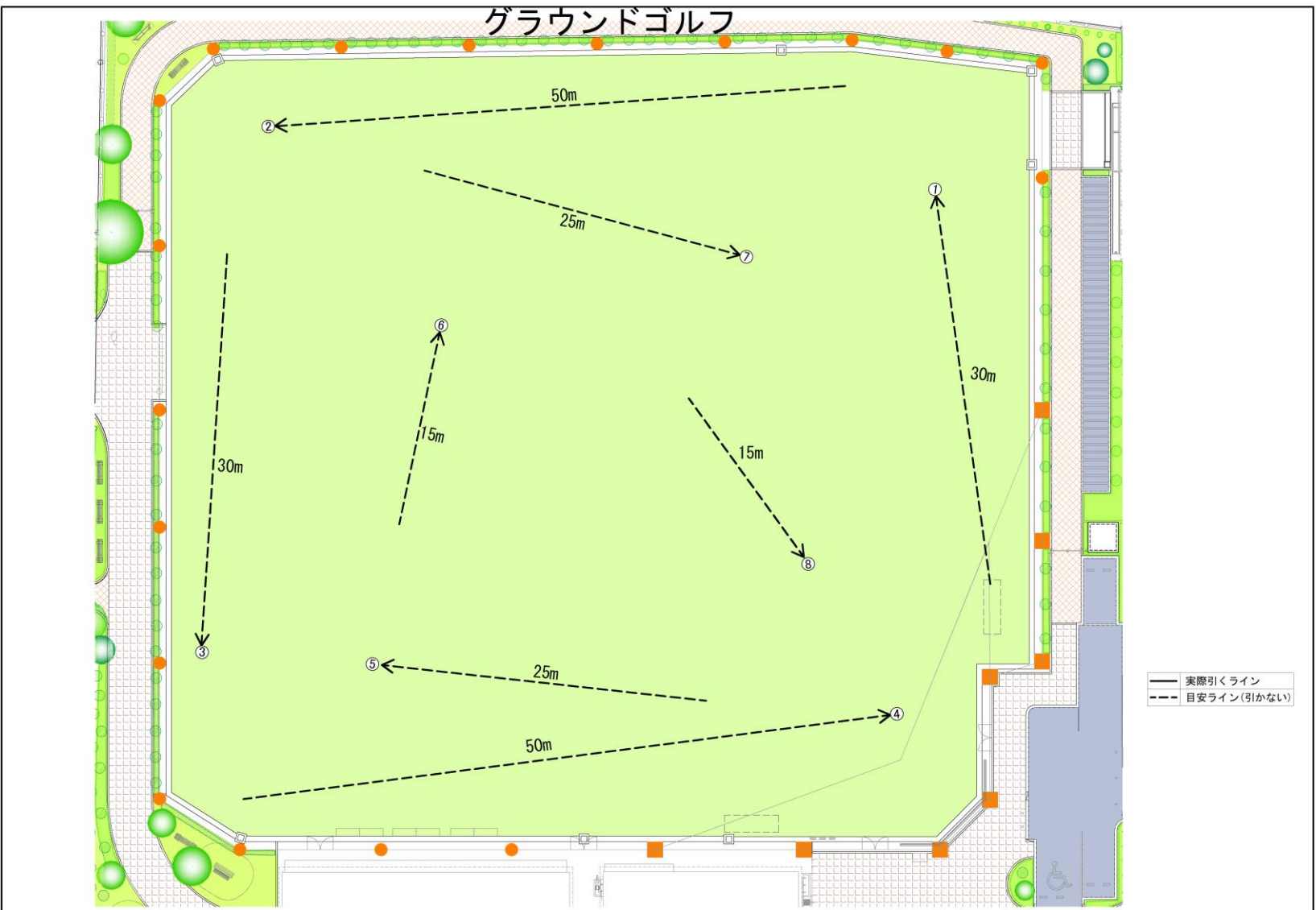
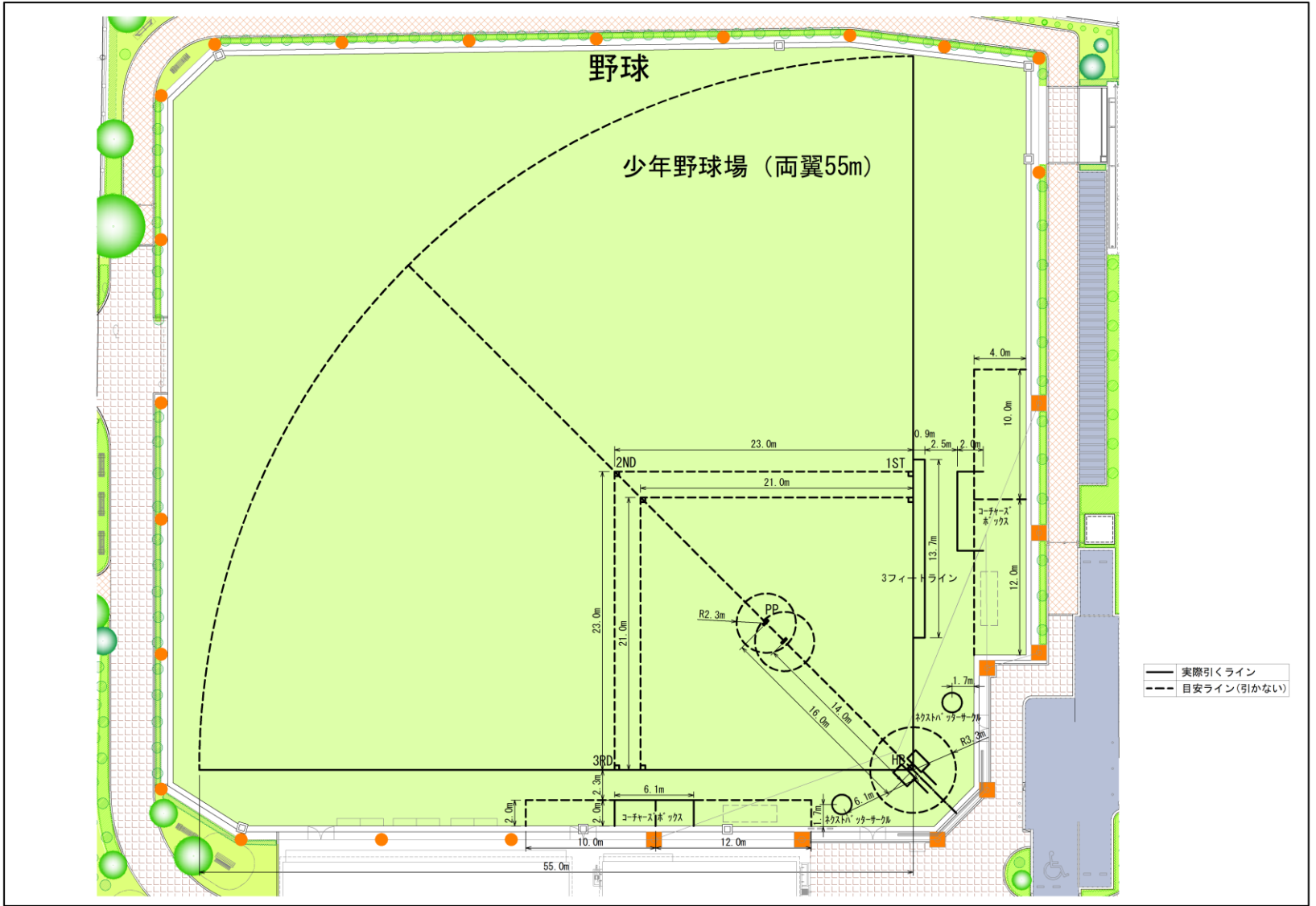


手足洗い場



立水栓

種目別のライン表示



種目別のライン表示

